

河川工作物アドバイザー会議の経過報告・今後の予定

1 令和3年度(2021年度)河川工作物アドバイザー会議の開催状況

(1) 第1回会議(令和3年(2021年)8月26日(木)及び10月18日(月)~19日(火))

・8月26日(木)オンライン会議

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から会議はオンラインで開催し、現地検討会については別途実施。

・10月18日(月)現地検討会【羅臼町】

オッカバケ川、サシルイ川において河川工作物の改良効果等について現地検討会を実施。

・10月19日(火)現地検討会【斜里町】

ルシャ川の河川工作物の改良効果等について現地検討会を実施し、併せてイワウベツ川支流盤の沢の簡易魚道の視察を実施。

(2) 第2回会議(令和4年(2022年)1月27日(木)オンライン会議)

2 第44回世界遺産委員会決議に係わる対応について

世界遺産委員会において知床の保全状況にかかる決議が行われ、河川工作物に係る勧告が示されたことから、今後、AP会議やメールを活用しながら事務局(林野庁・北海道)で回答(案)を作成して、対応していくこととしました。

3 令和3年度(2021年度)長期モニタリング取組状況及び次期調査について

知床世界自然遺産地域科学委員会長期モニタリング実施計画に基づき、以下の調査について実施しています。

(1) オショロコマの生息状況に関するモニタリング調査

知床半島内の遺産隣接地域を含む42河川の水温測定と、外来種を含めた魚類相・生物量の推定を目的とした環境DNA調査、9河川でオショロコマの捕獲調査等を実施しました。

(2) サケ類の遡上状況調査(隔年実施)

ルシャ川、テッパンベツ川、ルサ川において、カラフトマスの遡上数と産卵床数等について8月から10月にかけて調査を実施しました。

また、4月から6月にかけて稚魚の降下数調査も実施しました。

(3) 第2期長期モニタリング計画

第2期長期モニタリング計画の策定に向け、各種調査手法について検討を行いました。

4 河川工作物の改良・検討について

河川工作物(ルシャ川、サシルイ川、オッカバケ川、イワウベツ川)の改良実施状況及び改良計画及びルシャ川河床路の実証実験状況などについて議論しました。

(1) サシルイ川ダム改良

左岸側に石組み魚道を新設する改良案を提案し、検討を行いました。

(2) ルシャ川ダムの改良

第2ダムの幅40mの切下げ(H=1.7m)の完了と、来年度の第1ダムの切下げ(0.8m)工事の予定を報告しました。

(3) オッカバケ川ダム改良

昨年改良が終了した2号ダムの現況報告と、今後検討する1号ダムの改良に向けた地元説明会の実施結果を報告するとともに、改良工事の工法等の検討を行いました。

(4) イウベツ川ダム改良

No.3、No.7 ダムの改良方針の検討を行うとともに、11月の降雨で被災した知床保安林管理道の修理を優先するため、イウベツ川ダムの改良は1年延期することを報告しました。

(5) ルシャ川河床路の状況

昨年度実施した被災復旧工事の振り返りと、定点観測結果及び次年度の改良とモニタリングの予定について報告しました。

5 今後の予定

北海道森林管理局・北海道では、今後も継続して、ルシャ川のダム改良、河床路実証試験及びオッカバケ川並びにイウベツ川のダム改良を実施します。本工事に当たっては、河川工作物アドバイザー会議の技術的な助言を得ながら、また、地元関係者から意見を伺いながら進めます。